

【商品番号 8 番】の説明

☆ ホールシステム各論 III

ホールシステム各論III ホールシステム一貫攻法(冊子とビデオ)

漏洩防止の為ダウンロード版はありません。

1

立ち回り一貫攻略

① 好調グループを見分ける方法と、その好調グループ内の好調台を作り出しているホルコンの仕事の法則を知ってしまうことにより、そのグループの次の好調台を見分ける方法を知る。

好調グループは何故1日中、好調を維持できるのか、どのようにして好調グループを作り出しているのか不調なグループは、いつどのような時期に好調グループとなるのか。

② 交換OR継続完全判別

皆伝編取得後は、この判別法を知ることにより、時短後150回転を打ちません。

2

時短後、即判断可能。

これを知るだけでも1日6時間で平均2万円の差益。

月に10回(1回6時間)のパチンカーなら少なくとも20万円をうかせることができるはずです。

③ その台の好調度を知る=(磁力=好調度=回り具合)

例えば4台の並び構成で、4番台(当日25回で時短終了直後)だけに打ち手あり、

1番 当日9回 ハマリ112、2番 当日12回 ハマリ350、3番 当日5回

この場合、1番2番3番のいずれかに当たり番が移動している可能性大。

空き台3台を右から順に5回ほど回してみる。

最も回る台に当たり番がある。

- ④ 新基準機以前の機種と新基準機のハマリ周期、遊び周期、好調周期、
爆発周期の違い。

3

ヒント

これを知らないから、700～1000回転などのハマリ台がシマ内に多いのであり、
これを知ることにより、止め時、攻め時を当たり回数から知る。

- ⑤ 朝一の攻め方、中盤の攻め方、夕方からの攻め方

朝一の好調グループとそのグループの狙い台を知る方法、中盤からの、このグループ内の狙い台、夕方には朝からの好調グループは好調度の一巡により沈黙する可能性が高いが狙い台が残っている場合は、絶好のチャンス台となる。

好調度一巡により沈黙している場合は、その時点の好調グループを攻めるが、この見分け方と狙い台を知る。

⑥ 朝一に当たる台及びグループは好調グループか？

後が続かないその場限りのモーニング当たりなのか、それとも好調グループなのかを「朝一の好調グループ及び好調台の選び方」を知ることにより見極める手法。

⑦ 好調周期台と爆発周期台の違い

好調周期台も爆発周期台も好調グループに発生し、同じ9回前後或は9の倍数前後まで一気に当たりを消化するが、同グループの他台にとって、他人に当たっている好調周期台は天使、爆発周期台は悪魔となる。

両者ともホルコンが1シマ内に看板グループを作り出し、「出してるよ」と客にアピールしているのが、好調グループの見分け方を知っても、この天使と悪魔の違いを知らなければ勝てない。

⑧ 時短の有効時期は回転数ではなく時間である。

それならどのように打ち、どの状態で移動するのか？

5

例えば時短前半に頻繁なスーパーリーチがきたが時短70回転頃からウンともスンともいわなくなった。

逆に、時短中はスーパーリーチ等が極端に少なかったが、時短100回転経過後103回転や105回転で再当たりした。

パチスロにおける当たり終了後100回転までは、パチンコにおける時短機能に類似した機能を持つが、パチスロの時短類似機能は回転数であり時間ではない。

これを踏まえて如何に打てば有利な展開に持ち込めるか？

⑨ ケツ番追いの真髓

その殆どの当たりが遊び周期の当たりであり、単発から5連ちゃんまでの当たりであるが、最小資本、最短で当たりを確保する最有効なケツ番追いの攻め方。

6

⑩ 遠隔を見極める

ホルコンの仕事なのか、遠隔なのかを見極める知識がなければ、ハマリグループを攻めかねない。

ホルコンの仕事と遠隔の違いは？

⑪ 打ち出し口に玉を乗せることにより、ホルコンは打ち手ありと認識し、

打ち出し口の玉を打ち切ると空き台と認識する。

従って、打ち出し口に玉が無い状況から打ち出すと、ホルコンが打ち手ありと認識するまでは(およそ15秒間)回りが悪い、認識するとバタバタと入賞する。空いた

直後で、打ち出し口に玉が残っていると打ち手アリと認識している。故に、いきなり回りが良い場合があります。

これを踏まえて回り具合から好不調度を判断する。

7

吉野大観著 価格 49,800円
